

## トビタテを利用した医学研究実習

医学部医学科 山口貴士

### <留学の目的>

私は将来臨床医として患者さんの診療に携わるだけでなく、医学研究にも携わり、研究の面からも医学・医療に貢献したいと考えており、在籍している医学科の研究室に通い医学研究も行っていました。その中で、海外の研究室の研究環境や他の研究室の研究も経験してみたいと思い、医学科の医学研究実習という科目の期間に留学し、海外の研究室での医学研究を経験してみたいと思い留学しました。

### <留学先での活動と生活環境>

医学科には医学研究実習という医学研究を一定期間(約2か月)行う科目があり、私はこの科目の実習期間中にアメリカ合衆国 オハイオ州にある Cincinnati Children's Hospital の基礎研究部門の研究室に派遣され現地の研究室で医学基礎研究を行いました。受入れていただいた研究室は内分泌系の研究室であり、肝細胞を用いた研究を行いました。(未発表のプロジェクトなので研究の詳細はあまりお話できません。すいません。)今回の留学では、最初に研究室の備品の場所、装置の使い方、各実験のプロトコルを教えてもらった以外は、実験はすべて1人で行いました。その他にもデータを整理してラボミーティングで発表し今後の方針をディスカッションするのですが、それらも英語で自分の責任で行いました。私としては受入先の先生がこのような研究室のプロジェクトの一部を私に任せてくださったのがとても嬉しかったですし、2か月このようなやり方で自分が任された部分をやり切れたというのはとても大きな自信になりました。

生活については、大変なこともありました。まず病院の寮がいっぱい入れず、病院から3km程離れたところに部屋を借りて徒歩で通うことにしたのですが、私がいた Cincinnati Children's Hospital の周辺はあまり治安が良くなく、特に暗くなってからの一人歩きは絶対にしないようにアドバイスされたため、時間的な制約がありました。実験が長引いて帰りが夜10時を回ることもあったのですが、そういう時はUberというタクシーのような制度を利用して帰宅していました。日常生活ではこういった厳しい面もありましたが、これはこれで海外で生活することの厳しさを知ることができたのでよかったと思います。

### <大まかなスケジュール>

大まかなスケジュールは図1に示すようなもので、日本での大学における授業が研究室の活動に変わっただけでそれ以外は大きくは変わりませんでした。ただし、留学の後半になると研究室に夜遅くまで残ることが多くなり、自由時間はほとんどなくなりました。休日は、街で買い物したり、実験しなければいけないときは研究室に行ったり、旅行したりして過ごしました。

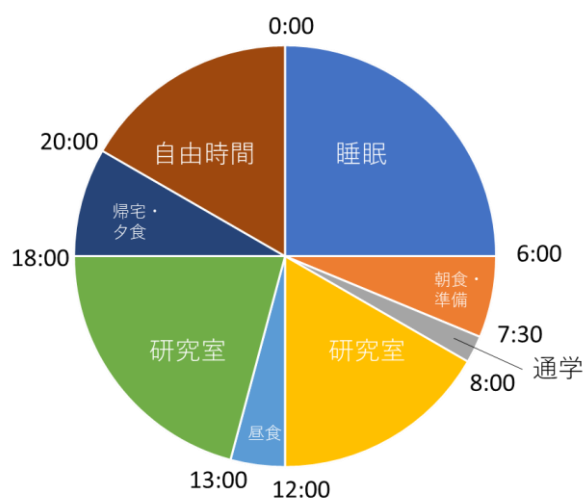


図1 平日のタイムスケジュール

#### <語学について>

もともと私は帰国子女でもありませんし、英語も流暢に話せるというわけではないですが、日常生活をしていく上でのコミュニケーションは問題なく行えました。出国前は日本の研究室の研究が忙しく、英語を十分勉強する時間がなかったので、もう少ししっかりと英語を勉強していけばよかったと思っています。また留学による語学力の変化については、リスニングやスピーキングの力が伸びたという感覚はあるのですが、帰国してから英語能力を測る試験などを受験していないので客観的に評価をすることはできていません。

#### <留学を通して学んだこと・留学を進める理由>

今回の留学では、海外で生きていくためには自分は何をしなければいけないかがわかったと思います。実際にアメリカで医学の基礎研究をして、今の自分に足りないものもわかり、残りの学生の期間に自分は何をやるべきか、やりたいかが見えてきたように思います。また留学では多様な価値観に触れることができます。日本にいただけでは出会わないような価値観の人に出会ったりして、視野が大きく広がり、自分の人生においてより多くの選択肢を考慮できるようになると思います。また留学では普段の生活では経験できないこと(異なる文化背景の人と生活する、普段とは異なる環境で生活する、日本語を使わないなど)がたくさん経験できます。それらを経験することで日本に戻ってからも多少のことで怯まない強い精神力が養えるのではないかと考えています。こういった観点からもぜひ学生の中に留学することをお勧めします。

#### <トビタテで留学して良かったこと>

- トビタテ!留学 JAPAN を利用して留学して良かったと思うこととしては
- ・手厚い経済的支援

- ・留学に興味があり、各方面で挑戦しようとしている学生に出会える
- ・研修による人生・留学の軸の明確化ができた

があります。私の場合、実習に係る費用はほとんどトビタテの奨学金で賄え非常に経済的に助かりました。またトビタテの制度を通して留学して自分の目標に近づこうと頑張っている人と出会えたことで、自分ももっと頑張らなければと思えましたし、トビタテで行われる研修では、自分の留学計画やこれまでの人生を振り返り自分の軸を明確化でき、今後生活していくうえで大変参考になり、トビタテに採用していただいてよかったと思えました。

